

7. リレー競技 [3/12(日)]

7.1 競技情報

7.1.1 選手村から会場への移動

- 岡崎地区に宿泊の選手は選手村のバスストップから、豊田地区に宿泊の選手は各宿舎から競技会場まで専用バスで移動する。バスストップ及び各宿舎の場所は選手村レイアウト図(9~11ページ)を参照のこと。
- バスは6:30~7:30の間に、以下に示す時刻表に従って発車する。7:00までは一走の選手を優先とする。発車時刻の5分前までにバスストップまたは各宿舎指定の場所に集合すること。
- 競技会場までのバス所要時間は60~80分程度である。乗車時間が長い場合、トイレなどは乗車前にすませておくこと。
- 各宿舎とも、出発前にチェックアウトを行うこと。なお、荷物は夕方まで宿舎に置くことができる。置き場所については宿舎の指示に従うこと。荷物を置く場合は、貴重品は宿舎に残さないこと。
- 開場時刻は7:00である。
- 各便の時刻表を以下に示す。各自到着時刻の目安を参考に集合し、乗車すること。豊田地区に宿泊の者は、大学ごとに4便に分かれて乗車すること。宿舎により出発時刻が異なるため、間違わないようにすること。

【専用バス時刻表<岡崎地区>】

No	バスストップA発	バスストップB発	バスストップC発	到着時刻の目安
岡崎1	6:10	6:15	6:30~7:30の間に 順次発車	7:30
岡崎2	6:30	6:35		7:50
岡崎3	6:50	6:55		8:10
岡崎4	7:10	7:15		8:30

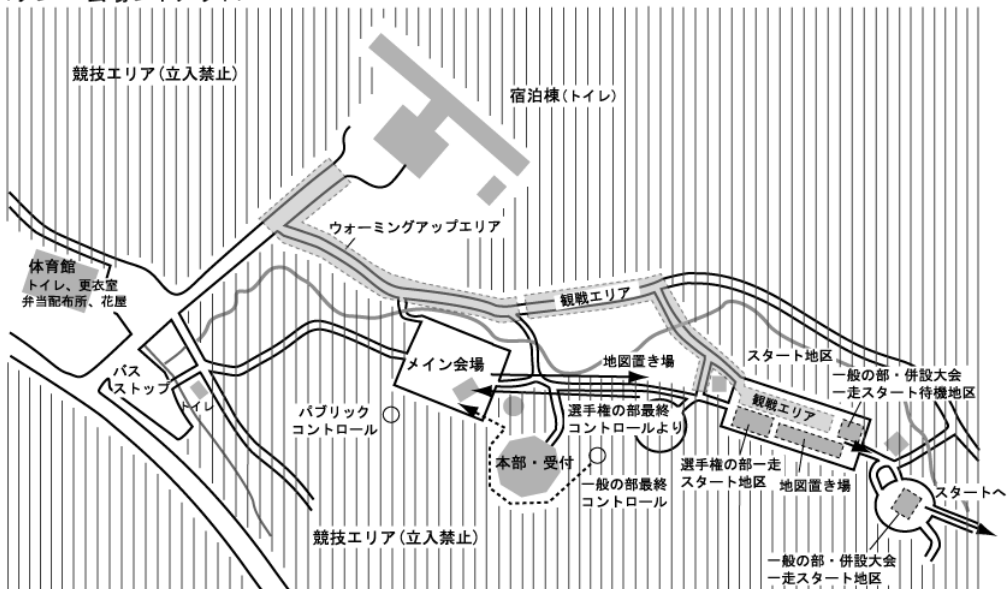
【専用バス時刻表<豊田地区>】

No	宿舎D4/D6発	宿舎D5/D2発	宿舎D3/D1発	到着時刻の目安
豊田1	6:20	6:30	6:40	7:30
豊田2	6:40	6:50	7:00	7:50
豊田3	7:00	7:10	7:20	8:10
豊田4	7:20	7:30	7:40	8:30

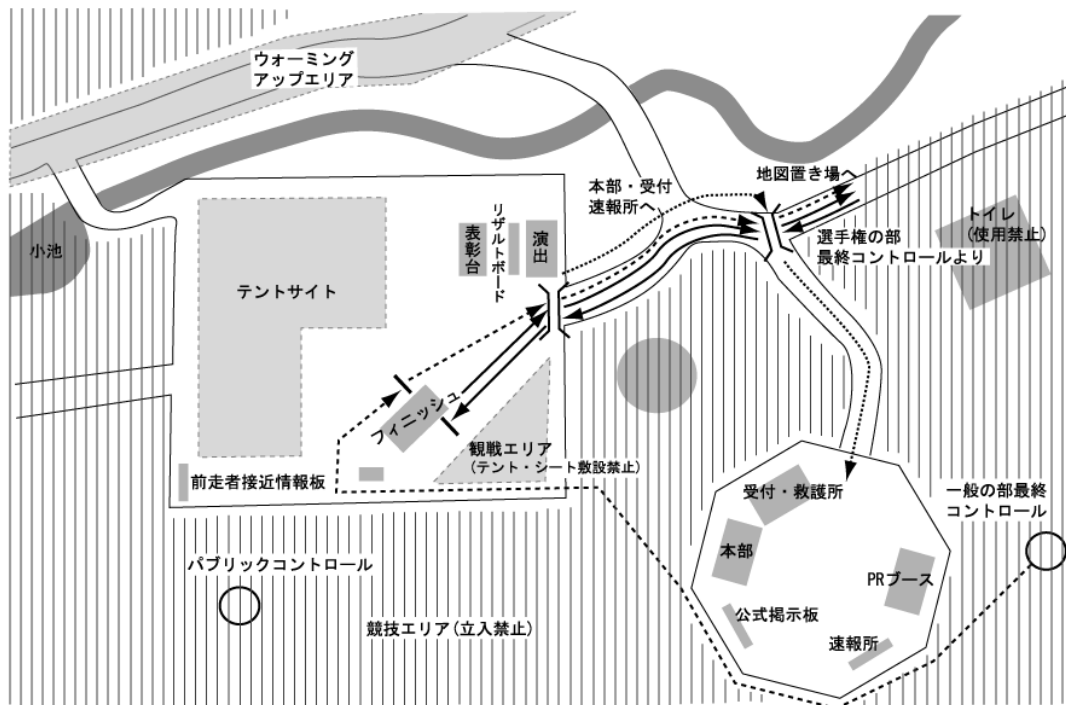
7.1.2 会場レイアウト

会場レイアウトを下に示す。なおレイアウト図は当日会場にも掲示する。

<リレー 会場レイアウト>



<リレー メイン会場レイアウト>



- 女子更衣室は体育館内に用意される。ただし女子更衣室内に荷物を置くことはできない。
- トイレは体育館に1ヶ所、屋外に1ヶ所用意する。ただし天候によっては屋外トイレが使用できなくなる可能性がある。その場合は宿泊棟内のトイレを使用する。詳しくは代表者ミーティングにて通知する。
- 会場にはテントサイトを設ける。譲り合って利用すること。なおフィニッシュレーンのすぐ脇にはテントを張らないこと。
- ウォーミングアップエリア・観戦エリア内は荷物を置いたり、テントを張ったりすることはできない。

7.1.3 選手変更及び欠場者最終受付 (8:00~8:40)

- オーダー用紙提出後、出場予定選手が出場できなくなった場合に、大会受付に「リレー直前変更届」を提出することにより、選手変更および欠場を申告することができる。
 - **選手権の部**
 - ✓ 選手権の部では、病気・怪我により出場予定選手が出場できなくなった場合、各クラススタートの1時間前までに「リレー直前変更届」を提出し（MEでは8:30まで、WEでは8:40まで）かつ裁定委員会の了承が得られたときに限り選手変更を受け付ける。
 - **一般の部**
 - ✓ 一般の部については欠場のみ受け付ける。選手変更は認めない。
 - ✓ 欠員が出たチームはリレーへの出走ができない。残りの選手はスプリント競技に出場するか、もしくは観戦となる。なお、この場合も「リレー直前変更届」を提出すること。
 - ✓ 選手権の部へ選手を補充したことにより一般の部のチームに欠員が出ても、スプリント競技出場者からの選手補充は認めない。

7.1.4 地図置き場の確認 (8:40~8:50)

- 地図置き場を開放する。各自自分の地図の位置を確認すること。
- 地図には手を触れないこと。

7.1.5 デモンストレーション (9:00~9:10)

- メイン会場で、デモンストレーション(競技説明)を行う。前走者の来る方向、レーンの位置、チェンジオーバ

一の方法、次走者の走る方向などが確認できる。

7.1.6 競技に関する全般的注意事項

- 競技時間
選手権の部 : ME 5時間 WE 5時間
一般の部 : リレー 4時間30分 スプリント 2時間
上記の時間を越えたチーム・選手は失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻
選手権の部 14:40 一般の部 14:30
競技途中であっても、上記時刻までにはフィニッシュを通過すること。
- 競技を途中棄権する場合であっても、必ずフィニッシュに e-card、地図を提出すること。これが不可能な場合は、最寄の役員に届けること。
- e-card・ナンバーカードの無い者、およびリレー1走においてスタート時刻に遅刻した者は出走できない。
- スタート前の e-card の紛失は失格となることがある。失格の場合、e-card 再発行によりリスタート時に出走は可能である。再発行場所は受付となる。
- フィニッシュでは一切の調査依頼を受け付けない。受付まで文書にて行うこと。調査依頼用紙は受付に用意する。
- リスタートになったチームの記録は参考記録となる。
- テープ誘導が交差している箇所がある。選手同士ぶつからないように十分に注意すること。

7.1.7 弁当配布(10:30~12:30)

- 配布の放送がかかり次第、各校の代表者が弁当を取りに来ること。
- 弁当のゴミは学校ごとにまとめて弁当配布所にて回収する。

7.1.8 地図返却(13:00~)

- 全クラスのリスタート終了後、体育館においてリレーの地図を返却する。詳細は放送によって案内する。

7.1.9 地図販売及び配布(13:00~)

- 全クラスのリスタート終了後、受付にて地図販売およびチームオフィシャル、日本学連賛助会員への地図配布を行う。
 - 地図販売
 - ✓ モデルイベント、ミドル・リレーのコース図、全コントロール図の販売を行う。
 - チームオフィシャル用・賛助会員用地図配布
 - ✓ チームオフィシャルに地図(全コントロール図、ME及びWEのコース図)を配布する。IDカードを提示すること。
 - ✓ 日本学連賛助会員には、希望のコース図をミドル・リレー各1枚無料で配布する予定である。なお、枚数に限りがあるので、希望に沿えない場合がある。

7.1.10 備品返却

- 全ての選手が帰還した学校は e-card、安全ピンを各校でまとめて受付に返却すること。e-card は水できれいに洗淨すること。

7.1.11 表彰式(13:30~)

- 表彰式は13:30頃よりメイン会場にて行う。詳細は放送によって案内する。
- 選手権の部は上位6チームを表彰する。
- 一般の部(MUR、WUR、XUR)は上位3チームを表彰する。なお、一般の部のリレー各クラスにおいて、今年度学連初年度登録者のみで構成されたチームのうち最も成績の良かったチームを特別表彰する。過年度生を含んだチームは表彰対象外とする。
- 一般の部(MUS、WUS)は男女上位各1名を表彰する。過年度生は表彰対象外とする。

- 表彰式はスプリント、リレー一般の部、選手権の部の順に行う。
- 表彰対象者は放送で招集するので指示された場所に速やかに集まること。
- 会場内において花束販売を行う予定である。

7.1.12 閉会式（14：30～）

- 表彰式に引き続き閉会式を行う。
- 閉会式は以下の内容を予定している。
 - 総評
 - 2005 年度実行委員長挨拶
 - インカレ旗引継ぎ
 - 2006 年度実行委員長挨拶
 - 閉会宣言

7.1.13 会場からの帰路

- 13：30、及び14：30から15：40にかけて順次、バスストップから選手村または名鉄本宿駅への専用バスを発車させる。役員の指示に従い乗車すること。
- インカレ後夜祭、講習会に参加するものは、選手村または名鉄本宿駅への専用バスに乗車した後、各自でインカレ後夜祭、講習会会場へ移動すること。インカレ後夜祭、講習会会場は新城市内を予定している。

7.2 リレー競技（選手権の部）

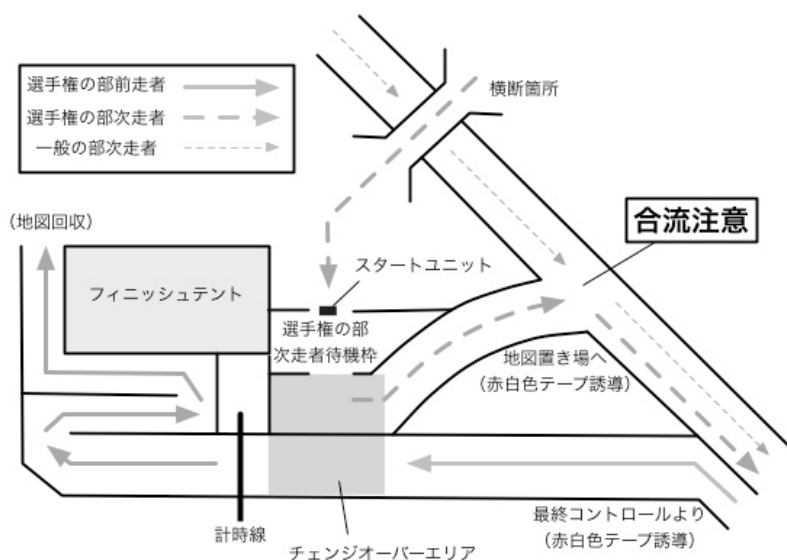
7.2.1 1走スタート

- 1走スタート時刻

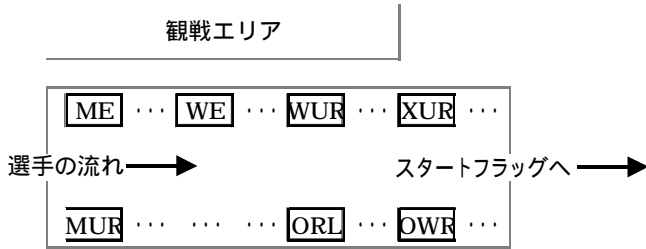
ME	9：30	WE	9：40
----	------	----	------
- 1走の選手はスタート時刻の10分前に1走スタート地区に集合すること。
- 1走スタート地区では役員の指示に従って進み、整列すること。スタート前に地図は渡されるが、スタートまで中を見てはならない。
- スタートの合図はピストルで行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。計時はスタートの合図から行う。
- スタートフラッグまでは赤白色テープ誘導である。地図上の()の中心にスタートフラッグがある。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.2.2 チェンジオーバー

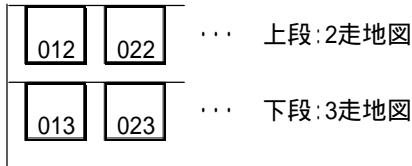
<リレー選手権の部 スタート/フィニッシュ地区レイアウト>



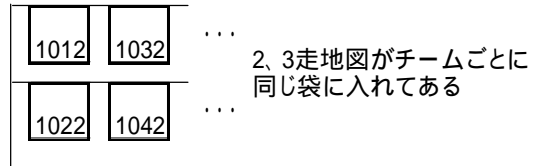
<リレー 地図置き場レイアウト>



<選手権の部>



<一般の部>



- フィニッシュのおよそ3分前に通過するコントロール（パブリックコントロール）をメイン会場から見る事ができる。このコントロールを通過した際、前走者のナンバーカード番号を「前走者接近情報板」に掲示する。掲示が遅れる場合もあるが、インカレ実施規則 25.10 に規定する次走者への告知はこれに依るものとする。
- 選手権の部次走者待機枠入口にスタートユニットを設置する。e-card のアクティベートを行うこと。故障が疑われる場合は近くの役員に申し出て e-card の再発行を受けること。
- チェンジオーバーは前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合はそのチームは失格とする。
- 次走者が次走者待機枠にいない場合は、その場で役員に申し出て指示に従って次走者を待つこと。チェンジオーバーを行うまで計時線を通過できない。
- チェンジオーバー後、次走者は赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取ること。地図置き場までの誘導は、途中で一般の部の誘導と合流するので注意すること。
- 他の選手の地図を取った場合は失格となる。
- 自分の地図が無い場合は、地図置き場の役員に申し出ること。
- 地図を取った後、スタートフラッグまでは更に赤白色テープ誘導に従って進む。地図上の（ ）の中心にスタートフラッグがある。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.2.3 パブリックコントロール

- 選手権の部ではコース上にパブリックコントロールを設置する。パブリックコントロールからは短い赤白色テープ誘導があるので、誘導に従って進むこと。

7.2.4 フィニッシュ

- 最終コントロールからは赤白色テープ誘導レーンに従って進み、計時線を通過する。
- 計時線を通過した後は追い越し禁止である。役員の手指示に従って地図を提出すること。全クラスのリスタート終了時（13：00）までは地図を回収する。地図を紛失した場合は失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は14：40である。
- 調査依頼はフィニッシュ後速やかに受付まで文書にて行うこと。調査依頼用紙は受付に用意する。
- 調査依頼の締め切りは15：40である。

7.2.5 リスタート

- リスタート時刻はME、WE共に12:50を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する場合がありますので放送には注意すること。
- リスタート時刻の10分前までに、チェンジオーバーできなかった全ての選手は、選手権の部次走者待機枠に集合すること。ただし、リスタートを希望しない場合は、次走者待機枠の役員に申し出ること。
- 次走者待機枠集合後も、リスタート時刻まではチェンジオーバーが可能である。
- リスタート時刻に遅刻した選手は出走できない。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取ること。
- 他の選手の地図を取った場合は失格となる。
- 自分の地図が無い場合は地図置き場の役員に申し出ること。
- 地図を取った後、スタートフラッグまでは更に赤白色テープ誘導に従って進む。地図上の()の中心にスタートフラッグがある。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.2.6 失格

- 失格が判明した場合、当該校のチームオフィシャルに通知される。
- 失格チームはその後のチェンジオーバーを禁止する。
- 失格チームの未出走者はリスタート時に出走できる。

7.2.7 ウィニングラン

- 選手権の部において優勝が確定的な学校のみ、ウィニングラン(同チームの選手による最終走者の伴走)を行うことができる。希望する場合は、受付に申し出て許可を得ること。ただし、他クラスも含めた競技状況によっては許可しない場合もある。
- 役員の指示に従ってウィニングランを行うこと。

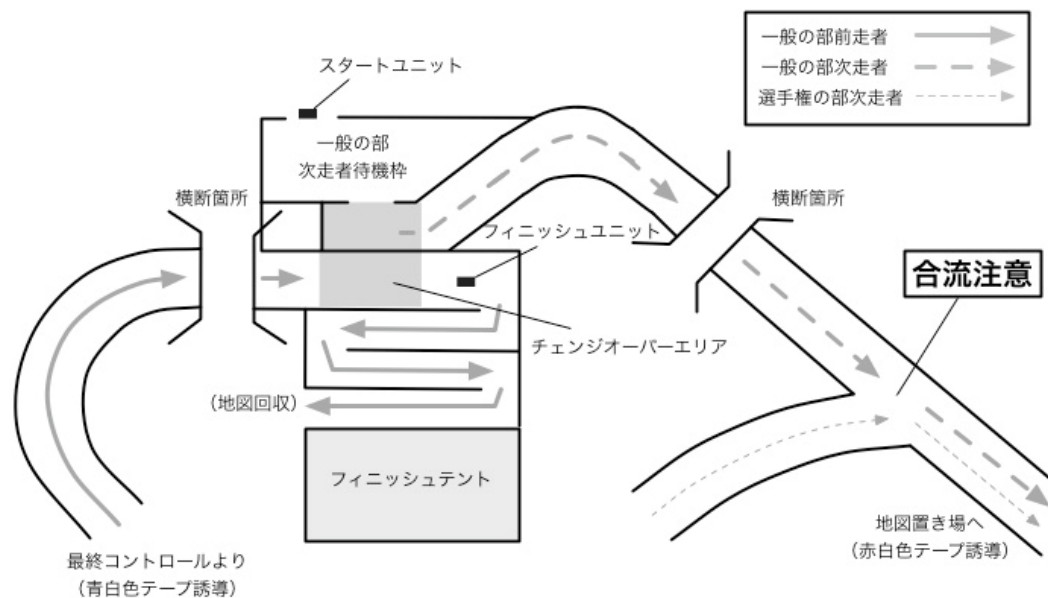
7.3 リレー競技(一般の部)

7.3.1 1走スタート

- 1走スタート時刻
WUR/XUR 9:50 MUR 10:00
- 1走の選手はスタート時刻の10分前に一般の部・併設大会1走スタート待機地区に集合すること。
- 一般の部1走スタート地区は選手権の部1走スタート地区よりも奥になる。1走スタート待機地区から1走スタート地区へ移動する際には役員の指示に従うこと。
- 1走スタート地区では役員の指示に従って進み、整列すること。スタート前に地図は渡されるが、スタートまで中を見てはならない。
- スタートの合図はピストルで行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。計時はスタートの合図から行う。
- スタートフラッグまでは赤白色テープ誘導である。地図上の()の中心にスタートフラッグがある。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.3.2 チェンジオーバー

<リレー一般の部/スプリント競技 スタート/フィニッシュ地区レイアウト>



- フィニッシュのおよそ3分前に通過するコントロール(パブリックコントロール)をメイン会場から見る事ができる。このコントロールを通過した際、前走者のナンバーカード番号を「前走者接点情報板」に掲示する。主管者は、この掲示に不備があっても責任を負わない。次走者は前走者の帰還時刻を予想して準備をすること。また、前走者の姿がメイン会場内に見えてからチェンジオーバーまでの所要時間は10秒程と予想される。
- 一般の部次走者待機枠入口にスタートユニットを設置する。e-cardのアクティベートを行うこと。故障が疑われる場合は近くの役員に申し出てe-cardの再発行を受けること。
- チェンジオーバーは前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合はそのチームは失格とする。
- 次走者が次走者待機枠にいない場合は、その場で役員に申し出て指示に従って次走者を待つこと。チェンジオーバーを行うまでフィニッシュできない。
- チェンジオーバー後、次走者は赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取ること。地図置き場までの誘導は、途中で選手権の部の誘導と合流するので注意すること。
- 他の選手の地図を取った場合は失格となる。

- 自分の地図が無い場合は地図置き場の役員に申し出ること。
- 地図を取った後、スタートフラッグまでは更に赤白色テープ誘導に従って進む。地図上の()の中心にスタートフラッグがある。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.3.3 フィニッシュ

- 最終コントロールからは青白色テープ誘導に従って、フィニッシュレーンに入る。
- パンチングフィニッシュとする。チェンジオーバー後、パンチングフィニッシュ用ユニットに e-card をはめ込むこと。
- パンチングフィニッシュした後は追い越し禁止である。役員の指示に従って地図を提出すること。全クラスのリスタート終了時(13:00)までは地図を回収する。地図を紛失した場合は失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は14:30である。

7.3.4 リスタート

- リスタート時刻はMUR、WUR、XUR共に13:00を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する場合があるので、放送には注意すること。
- リスタート時刻の10分前までに、チェンジオーバーできなかったすべての選手は一般の部次走者待機枠に集合すること。ただし、リスタートを希望しない場合は、次走者待機枠の役員に申し出ること。
- 次走者待機枠集合後も、リスタート時刻まではチェンジオーバーが可能である。
- リスタート時刻に遅刻した選手は出走できない。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取ること。
- 他の選手の地図を取った場合は失格となる。
- 自分の地図が無い場合は地図置き場の役員に申し出ること。
- 地図を取った後、スタートフラッグまでは更に赤白色テープ誘導に従って進む。地図上の()の中心にスタートフラッグがある。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.3.5 失格

- 失格チームのその後のチェンジオーバーは禁止しない。すでに失格とわかっている場合でもリスタート時刻までチェンジオーバーを行うこと。

7.4 スプリント競技

7.4.1 スタート

- スタート時刻
MUS/WUS 9:50
- 1走の選手はスタート時刻の10分前に一般の部・併設大会1走スタート待機地区に集合すること。
- 一般の部スタート地区は選手権の部スタート地区よりも奥になる。1走スタート待機地区から1走スタート地区へ移動する際には役員の指示に従うこと。
- 1走スタート地区では役員の指示に従って進み、整列すること。スタート前に地図は渡されるが、スタートまで中を見てはならない。
- スタートの合図はピストルで行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。計時はスタートの合図から行う。
- スタートフラッグまでは赤白色テープ誘導である。地図上の()の中心にスタートフラッグがある。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.4.2 フィニッシュ

- 最終コントロールからは青白色テープ誘導に従って、フィニッシュレーンに入る。
- パンチングフィニッシュとする。パンチングフィニッシュ用ユニットに e-card をはめ込むこと。
- パンチングフィニッシュ後は追い越し禁止である。役員の指示に従って地図を提出すること。全クラスのリスタート終了時(13:00)までは地図を回収する。地図を紛失した場合は失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は14:30である。